

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 多摩市立多摩第一小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 206-0011
東京都多摩市関戸 3-2-23

E-mail daihyo-tama1-sho@city.tama.ed.jp

Website http://schit.net/tama/estamadaiichi

児童生徒数 男子 396名 女子 376名 合計 772名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【第6学年】

「エネルギー 発電について考えよう」

【単元目標】

電気はどのようにして作られているのかを調べ、様々な発電方法の特徴を知るとともに、これからの自分たち（多摩市）の発電の在り方について自分の考えをもつ。また、将来の多摩市の発電について前向きに考え、提案することを通し、地域の電力やエネルギーについて、自分の問題として考え続けようとする意識を育てる。

【展開の概要】

ア 発表する

- ・グループ毎に、2030年の電源構成について発表する。
- ・発表を聞き自分の考えをまとめたり、質疑を準備したりする。

イ 話し合う

- ・発表をもとに、質疑や意見の交流を行い、2030年の電源構成について話し合う。
- ・輪番で意見を出した後、話し合いを進めていく。

ウ 話し合いをもとに、一人一人が2030年の電源構成について、考える。

- ・自分が考えた電源構成についてワークシートにまとめ、投票板で投票する。

エ 投票結果から 2030年の電源構成についてまとめる。

【成果】

- ・さまざまな発電方法の長所や短所などを調べて比較することで、エネルギーと環境に関する学習意欲が向上し、話し合い活動を通して、自分なりの理由や根拠を多角的な視点から獲得することができた。
- ・本単元の学習を通して、地域の環境をみつめ、自分と友達との関係を築き、環境を守ろう、より良い環境を創ろうとする姿勢につながった。

【課題】

- ・エネルギーの諸問題について、大人達も解決策や答えを探している中、児童に達成感をもたせる指導の工夫と発電について考えたことを、日常生活における行動の変容にまでつなげるような学習活動を設定することが課題である。



クラスでの話し合いの様子



理想の発電方法に投票（1人10票）

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）